

平成28年度司法書士試験筆記試験（記述式問題）の出題の趣旨

本年度の司法書士試験筆記試験の記述式問題は、以下の事項に関する知識及び能力を試すための出題です。

【第36問】

問1について

問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から、所有権の登記名義人の住所の変更の登記及び財産分与を登記原因とする所有権の持分の全部移転の登記を申請すべきことを読み取った上で、登記を申請する順序及び申請情報の内容についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

さらに、問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から、上記の登記の申請に先立って債務名義に執行文の付与を受ける必要があることを読み取った上で、その正確な理解を問うもの

問2について

問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から、所有権の登記名義人の住所の変更の登記、合併を登記原因とする抵当権の移転の登記並びに解除を登記原因とする抵当権及び根抵当権の抹消の登記を申請すべきことを読み取った上で、登記を申請する順序及び申請情報の内容についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

問3について

問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から、元本の確定前の根抵当権について、一部譲渡を登記原因とする根抵当権の一部移転の登記、債務者及び債権の範囲の変更の登記並びに共同根抵当権の追加設定の登記を申請すべきことを読み取った上で、登記を申請する順序、登記原因について第三者の同意又は承諾の要否及び申請情報の内容についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

【第37問】

問1について

監査等委員会設置会社の定めの設定、役員等の変更、監査役設置会社の定め
の廃止、監査役会設置会社の定め
の廃止、重要な業務執行の決定の取締役
への委任についての定め
の設定及び新株予約権の行使等について、提示した資料から読み取り、会社が行った
手続や効力発生日、役員の任期や社外取締役等である旨の登記の必要性等に留意
しながら、登記の申請書を正確に記載した上、当該申請書の添付書面を特定し、
納付すべき登録免許税の額を正確に計算することを求めるもの

問2について

吸収分割による変更の登記、監査役
の監査の範囲を会計に関するものに限定する旨の定め
の廃止の登記及びこれらと同時に行う役員変更の登記に関し、提示した資料から読み取り、
役員の任期や代表取締役の予選の可否等に留意しながら登記の申請書を正確に
記載した上、当該申請書の添付書面を特定し、納付すべき登録免許税の額を正確
に計算することを求めるもの

問3について

代表取締役の予選の有効性についての正確な理解を問うもの

以上